

## 令和8年度 国語科 年間指導計画 第3学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	単元名	時数	単元の目標	他教科等との関連
前期	4	あなたのこと、教えて	2	相手のことを知るために、好きなことや得意なことを質問しながら話し合えることができる。	
		音読を聞き合おう「すいせんのラッパ」	6	場面や人物の様子を想像し、音読で表すことができる。	
		漢字を使おう 1	1	2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
		図書館へ行こう	2	図書館で知りたいことを調べるための資料の探し方を理解し、図書館を活用することができる。	
		国語じてんの使い方	2	国語辞典の仕組みや使い方を理解し、学習に活用することができる。	
		メモを取りながら話を聞こう	4	大事なことを落とさないように気をつけながら、働く人の話を聞いてメモを取ることができる。	社会、総合
	4・5	読んで考えたことをつたえ合おう「自然のかくし絵」	8	段落ごとの内容を確認し、「自然のかくし絵」とはどういうことを考えることができる。	社会、理科
	5	漢字を使おう 2	1	2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
		じょうほうのとびら：全体と中心	2	情報の全体と中心について理解し、文や文章を書くことができる。	
		「わたし」の説明文を書こう	12	伝えたいことの中心を明らかにして、「『わたし』の説明文」を書くことができる。	社会、理科
	6	漢字の表す意味	2	複数の意味を持つ漢字があることを知り、その意味の違いについて理解することができる。	
		物語をみじかくまとめてしよう「ワニのおじいさんのたから物」	8	登場人物や起こった出来事など、物語の内容を短くまとめて「紹介カード」を作ることができる。	
		漢字を使おう 3	1	2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
		人物やものの様子を表す言葉	2	人物や物の様子を表す言葉について理解し、意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。	
		心が動いたことを詩で表そう	6	表現を工夫しながら、詩を作ることができる。	
		ローマ字①	3	ローマ字で書かれた簡単な単語を読み、ローマ字を使って単語を書くことができる。	
	7	書き手のくふうを考えよう「『給食だより』を読みくらべよう」	8	伝えたいことを上手く伝えるために、書き手がどのような工夫をしているのかを考えることができる。	
		三年生の本だな	2	幅広く読書に親しみ、自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。	
	8・9	紙ひこうき／夕日がせなかをおしてくる	2	場面の様子や人物の気持ちなどを具体的に想像することができる。	
		案内の手紙を書こう	5	だいたいなことを手紙で伝えることができる。	
慣用句を使おう		3	慣用句について知り、意味や使い方を調べて、文を書くことができる。		
グループの合い言葉をきめよう		7	司会の進行に沿ってグループで話し合い、来月の合い言葉を決めることができる。		
漢字を使おう 4		1	2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
主語とじゅつ語、つながってる？		2	主語と述語の関係を理解し、主語と述語を適切につなげて文を書くことができる。		
9・10	中心人物について考えたことをまとめよう「サーカスのライオン」	9	中心人物の行動や気持ちを捉え、人物について考えたことを伝え合うことができる。		
10	漢字を使おう 5	1	2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		

後期	10	きょうみを持ったことをしようかいしよう「せっちやくざいの今と昔」	8	興味を持ったことについて、伝えたいことの内容が分かるように要約して紹介することができる。		
		じょうほうのとびら：分ける	2	情報を分類する方法を理解し、情報を分かりやすく整理することができる。	社会	
		道具のひみつをつたえよう	10	調べたことを整理しながら、レポートを書くことができる。	社会	
	11	こそあど言葉	2	こそあど言葉について理解することができる。		
		話したいな、好きな時間	6	話の中心がはっきりするように材料を選んで、好きな時間についてみんなに話すことができる。		
		漢字の読み方	3	漢字の音や訓、送り仮名について理解することができる。		
		ローマ字②	2	ローマ字を使ったコンピューター入力について理解することができる。		
		想どうしたことをつたえ合おう「モチモチの木」	9	物語の登場人物について、地の文と会話文、それぞれを手がかりに想像したことを伝え合うことができる。		
	12	漢字を使おう 6	1	2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
		人物の気持ちを表す言葉	2	人物の気持ちを表す言葉について理解し、意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。		
		いろいろなつたえ方	4	いろいろな伝達方法について知り、言葉で伝えるということについて考えたことを書くことができる。		
		本から発見したことをつたえ合おう	4	本から分かったことを伝え合う活動を通して、読書によって必要な知識や情報が得られることを知り、幅広く読書に親しむことができる。		
		漢字を使おう 7	1	2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
	1	俳句に親しもう	3	俳句の言葉の響きやリズムに親しみ、音読したり暗唱したりすることができる。		
		生き物についての考えを深めよう「カミツキガメは悪者か」	9	筆者の考えとそれを支える理由や事例を読み、生き物について考えたことを伝え合うことができる。		
		漢字を使おう 8	1	2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
		じょうほうのとびら：考えと理由	2	考えと理由について理解し、文や文章を書くことができる。	道徳	
	1・2	クラスの思い出作りのために	8	自分の考えとその理由を明らかにして、文章を書くことができる。		
	2	道具のうつりかわりを説明しよう	10	話の組み立てや話し方を工夫して、道具の移り変わりについて調べたことを説明することができる。	社会・総合	
		漢字を使おう 9	1	2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
		くわしく表す言葉	2	詳しく表す言葉について理解して、文中の詳しく表す言葉を捉えることができる。		
	2・3	物語のしかけのおもしろさをつたえ合おう「ゆうすげ村の小さな旅館」	9	物語の仕掛けを探し、物語で起きた出来事とどうつながっているか考えることができる。		
	3	漢字を使おう 10	1	2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
		漢字の組み立てと意味	2	漢字が部首と他の部分とによって構成されていることを理解することができる。		
		わたしのベストブック	6	文章のよさを伝え合いながら、「わたしのベストブック」を作ることができる。		
	年間授業時数		210			